

<治療について>

治療としては循環器内科と連携して血管内治療(percutaneous transluminal angioplasty 略して PTA)あるいは外科的バイパス手術を施行します。血管内治療(PTA)とはバルーンやステントによる血管形成術のことで、バルーンを装着したカテーテルを用いて狭窄または閉塞してしまった血管を拡張させることにより血流の改善を図る治療方法です。バルーンカテーテルに加えてステントという金属製の網目状の筒を留置して血管内腔の拡大と維持を行なうことも頻回に実施しています。

下肢虚血の程度、血管の硬化度と形態などの評価が必要ですので、まず循環器内科の受診が必要です。外科的手術は人工血管や自分の静脈を用いたバイパス術または外科的な血管形成術(内膜摘除、パッチ形成)を実施しています。

また四肢の急性動脈閉塞症は、四肢の動脈が突然血栓などで閉塞を起こすことで血液が供給されなくなってしまう疾患です。心房細動などの不整脈が原因となって発症する患者さんも多く来院されます。脳梗塞、心筋梗塞と同様に発症後迅速な処置が必要となります。救急対応が必要ですので急いで受診してください。